



UTSUNOMIYA PRIDE

宇都宮プライド 100年先も誇れるまちを、みんなで。



あなたは、「宇都宮プライド」を知っていますか？ 100年先も誇れる ”まちづくり”を発信中!!

「宇都宮プライドとは？」

「宇都宮ってどんなまち？」と聞かれて、すぐに答えられるでしょうか。いいところはたくさんあるのに、どこか影が薄く、はっきりとしたイメージを思い浮かべにくいことは否定できません。

こうした現状を打破するために、宇都宮市の「宇都宮プライド100年先も誇れるまちを、みんなで」プロジェクトが、昨年3月にスタートしました。宇都宮市内の人たちと「一緒に宇都宮の魅力を考え、発見し、形づくり、発信すること」を目的に取り組み都市ブランド戦略プロジェクトです。

これまでも餃子やカクテル、ジャズなど、個々の地域ブランドの構築・発信の取り組みは進んできました。今回、これらを含む

的・体系的にまとめ、一体的でストーリー性のある情報発信を行うことにより、都市全体としての宇都宮ブランドの確立を推進・構築していくというものです。宇都宮市は、市民参加型で進める地域ブランドの新しい形を目指して活動を進めており、市民に宇都宮市の魅力や良さを、再認識。や新たな「発見」をしてもらい、分かりやすく整理して多くの人に伝えていくことにしています。この活動を通して市民の中に宇都宮に対する誇り、愛着を醸成することで、宇都宮が100年先も誇れるまちとなることを目指しています。

宇都宮プライドで つくろうとしている 宇都宮ブランドって何？

宇都宮市は、宇都宮プライドで創出しようとしている「宇都宮ブランド」を、「市内外の人や企業からの信頼・好感・期待を恒常的に獲得するとともに、他自治体と差別化できる本市独自の「価値やイメージ」と位置づけています。

都市のブランド化は どう進めるの？

ステップ1 「認知」
市内外の人に、まずは宇都宮の魅力などを知ってもらう

出前プライドカフェ (7月~10月)

プライドカフェを地域や職場、学校などで開催し、より多くの市民の声を集めました。

ブランドメッセージ発表 (10月22日)

宇都宮ならではの魅力や良さを表現した「ブランドメッセージ」が決められました。

オリオン通りに 宇都宮アンテナショップ 「宮カフェ」誕生(11月7日)

オリオン通りに面した店舗にオリオン・商工会議所が運営を担います。
※詳細は2~5ページの特集を参照。

ブランドメッセージ が決定!

このメッセージに基づき宇都宮が100年先も誇れるまちとなるため、市民のみなさんが宇都宮に「誇り」を持ち、市外のみならず「憧れ」をもってもらえる都市になることを目指して活動していきます。

住めば 愉快だ 宇都宮

そこは、行けば行くほど発見がある街。ちょっとシャイだけど、オモシロイであふれた街。ビヨロなところがゼツミョーに心地よい街。来て楽しい、食べて楽しい。そして、住めばもっとも楽しい街。宇都宮が大切にしたいこと、そでは日々の暮らしの豊かさ。100年先も宇都宮を訪れる人が、住みたいと思える街になるために、そんな愛すべき宇都宮らしさを、もっともっと。

ステップ2 「信頼」

宇都宮市のことを好きになってくれる人を増やす

ステップ3 「愛着」

「誇り」や「憧れ」を作り出すことで、宇都宮ブランドを定着させる

という3段階での実現を目指しています。

これまで行ってきた 取り組みは？

今年に入ってから現在まで、さまざまな活動が行われてきました。主なものを紹介します。

公式ホームページ 「宮カフェ」を開設(3月13日)

宇都宮の魅力について自由に語り合えるブログを開設し、活発な意見交換が行われています。

佐藤栄一市長が 「フェスタmy宇都宮」の会場で スタートを宣言(4月12日)

プロジェクトページ (広報紙)の作成

広報紙「宇都宮プライドレポート」を発行し、市民に活動への参加を呼びかけています。

市街にフラッグを掲出

市内各所に「宇都宮プライド」のロゴフラッグを掲出しています。

キック・オフプライドカフェ開催 (6月20日)

宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパスで、宇都宮の魅力や誇りを語り合い、ブランドメッセージ開発へつなげるワークショップを開きました。

宇都宮プライド創造 ボランティアメンバーによる活動

プロジェクトを支えるため、各種催しにボランティアが積極的にかかわっています。

地元学(7月19、20日)

地元学ネットワークを主宰する吉本哲郎氏を招き、ユニオン通りをフィールドに、宇都宮の「再発見」を行いました。